

東洋鋼鈹株式会社 株主総会質疑応答

平成 25 年 6 月 25 日 10 時～

東洋鋼鈹株式会社 本社 4F ホール

当方出席者：株式会社ストラテジックキャピタル 加藤

弊社の質問・意見とそれに対する回答のみを簡潔に記載したものであり、一般株主からの質問等は省略している。

なお、会社側の回答者は全て社長である。

1. 株価・IR 体制について

<問 1>2013 年 6 月 24 日現在、当社の株価は 321 円であり、PBR0.41 倍と株価は非常に割安な状況に放置されている。社長として、当社の株価についてどう考えているか。
<回答>基本的に株価は市場が決めるもの。製造メーカーとしては収益がすべてだと考えており、収益向上を徹底的に図っていくことが私共としてやるべきことだと考える。

2. 社外役員について

<意見>昨年、会社法改正案の検討に際し、社外取締役の強制が検討されたが、実際には法改正に盛り込まれなかった。しかし、社外取締役、特に独立役員の存在が会社のガバナンス上、必要だと考えている。

今回の取締役の候補者として、東洋製缶の、東洋製缶は大株主でありまた大きな取引先でもあることから、真の意味での独立役員とはいえない。

<問 2>取締役の構成について、独立役員を置くことについてどう考えるか。

<回答>ご指摘の独立役員の必要性は十分に認識している。将来に向けてそうあるべきと考えており、貴重な意見として承りたいと思う。

3. 中期経営計画について

<意見>2010 年から 2012 年までの前中期経営計画について、大幅な未達で終わっている。その結果や背景について、先日の決算説明会やこの総会で多少の説明はお伺いしたが、大幅な未達にもかかわらず、説明が十分だと思えない。IR の対応として不十分ではないか。

<問 3>今回策定、発表された中期計画については、どのようなスタンスで取り組むつもりか。前回の結果及びその後の対応をみると単なる目標に見えるが、取締役として責

任をもってその成果にコミットするのか。

<回答>こうして発表しているからには、取締役としてそれを達成するのが最大の責務と考えており、そういう気概で取り組んでいく。

以上